

報道機関各位

令和5年10月19日

北九州市デジタル市役所推進室

職員一人ひとりがイノベーター DXで実現する未来の働き方**～作業時間10万時間削減に向けて、市政変革を加速！～**

現在、一部の部署に導入しているローコードツール（下記※参照）について、令和5年11月1日から、北九州市の全職員（約8,000人）が使えるように拡大し、全庁的な活用を開始します。

全庁的な業務改善や情報共有を推進することで、令和7年度末までに**作業時間10万時間削減**に向けて、市政変革を加速させます。DXによって捻出した職員のリソースは、相談や支援、市民に直接接する業務などに振り向け、更なる**市民サービスの向上**につなげていきます。

記

1 これまでの成果

- ▽令和3年10月、ローコードツール試行導入
- ▽現在、職員約900人が利用し、**173システム**を開発・稼働中
- ▽令和4年度に削減できた職員の作業時間：**約3.6万時間**
- ▽導入1年半で節減できたと試算されるシステム費用：**約22億円相当**
- ▽保健所の新型コロナ陽性者管理をはじめ多くの業務でDXを実現（別紙）

2 今後の取組

全国最大規模

- ▽11月1日から**全職員（約8,000人）**で活用
- ▽業務に活用できるシステム開発の拡大
- ▽職員への教育・研修の充実、活用事例の共有・普及
- ▽令和7年度末までの目標
 - ・年間削減作業時間：**10万時間**（令和7年度）
 - ・節減可能と試算されるシステム費用：**100億円相当**（累計額）

※プログラミング等の専門知識がなくても、簡単に業務システムを開発できるツール連携協定を締結しているサイボウズ社のkintoneを活用

【問い合わせ先】

デジタル市役所推進室

TEL 093-582-3007 担当課長：須山 担当係長：高塚